

幌加内町のすがた

災害に負けないために。

「自助・共助・公助」の3つがしっかり助け合ってこそ災害に負けない地域力が生まれます。集中豪雨や土砂崩れ、地震などの自然災害の発生が頻発している今こそ、家族とともに自分自身の災害への備えを整え、いつか来るかもしれないその日のために、地域の人々と防災への準備をすすめましょう。



はじめに

町民の皆さまには、日頃から防災行政につきまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。幌加内町では、過去に昭和56年豪雨による床上・床下浸水被害、平成11年豪雨による床上浸水被害、平成26年豪雨による朱鞠内地区の浸水害、平成30年2月には、道内最高積雪記録324cmを記録する豪雪などの災害に見舞われてきましたが、過去の災害を経験している人も、時間が経つとともに災害の記憶が薄れていく傾向があります。

各種の災害を最小限にとどめるためには、なによりも町民の皆さまの一人ひとりの十分な理解と備えが必要です。

防災意識を高め、各種の災害に備えていただくために、今回「幌加内町防災ガイドブック(洪水ハザードマップ)」を作成し、全世帯へお届けすることとしました。

このハザードマップの洪水情報は、雨竜川やその他中小河川が大雨によって増水し、町内で堤防が決壊した場合の浸水予想結果に基づいて、浸水する範囲とその程度、各地区の避難場所を示した地図となります。

大雨の規模は、概ね1000年に1回程度起こる大雨で雨竜川流域の72時間降雨量361mmを想定しています。

皆さまが住んでいる地区における浸水など、大雨による災害が発生する場所や状況を日頃から把握し、雨の降り方や浸水の状況に注意し危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。場合によっては、地図に示した区域以外のところも浸水する場合がありますのでご注意ください。

いざというときに備え、皆さまの家から避難所までの経路や家族の連絡先などを書き込んで、使いやすい場所に保管しておきましょう。

令和2年9月 幌加内町